英作文二課——節の利用

節の種類

* 関係詞　S V
* 接続詞　S V

節のポイント

* 「〜なもの」はwhat S Vで書くと巧く書ける

what he likes 「彼の好きな物」

Summer is the season I like best.

What is important is that you study hard.

* 時・条件の副詞節の中の動詞は未来の話でも現在形

時・条件の副詞説の種類

before・after・by the time・as soon as・till・unless・if・when・while・the moment

If it is fine tomorrow, I will visit him. 明日、天気がよければ、彼を訪ねよう。

* thatで内容説明

news/information that SV 「SVというニュース/情報」

the news that he died 　彼がなくなったという知らせ

句の種類

* to不定詞　動名詞

To master something is not so easy. = It is not so easy to master something.

I enjoy collecting stamps.

* 名詞を修飾

a nice house to live in

* 独立分詞構文

Frankly speaking, I like it. 率直に言って、私はそれが好きだ。

問題

１　あなたは彼女の生年月日を知っていますか

２　あそこの大きな木の下で遊んでいる女の子は私の姪です。

３　私たちは日がのぼる前にその山を登り始めた。

４　近代の人間が「リアリティ」を欠いているという彼女の説明は余りに抽象的で、聴衆のほとんどは彼女の伝えたい事を理解できなかった。　　リアリティ→reality

5　この通りを行くと郵便局につきます。

６　ニュージーランドで話されている言語は主になんですか。

７　私は昨日、英語で書かれた手紙を受け取った。

|  |
| --- |
| 回答欄 |

表現

抽象的な　　abstract 　　　　説明　　explanation

構文二課

Behind the boy was an elderly gentleman.

主語とは

基本的に文章の最初に出てくる前置詞のついていない名詞。

前置詞のついた名詞の後に動詞があると、倒置の可能性。

例文では、

Behind the boy was an elderly gentleman.

前置詞　　　　　V　　　　　S

→ An elderly gentleman was behind the boy.

ある老紳士が少年の後ろにいた。

SV前置詞の前置詞部分が文頭におかれる時は、前置詞VSとなる。つまり主語と動詞が入れ替わる。

問題

次の文を訳す。手も足も出なければ、手助け問題の方へ。

On the ability of individuals to live in harmony with others depends the future of mankind and the world.

|  |
| --- |
| 回答欄 |

表現

ability　能力　　　individual　個人　　　　in harmony with A Aと調和して

depend on A Aに依存する、頼る、A次第だ　　mankind　　人類

手助け問題

On the ability of individuals to live in harmony with others depends the future (of mankind and the world.)

ofには、A of B to Vで「BがVするA」というように、後ろの単語を主語のように扱う場合がある。